

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅱ-2-(4)

政策体系	施策名	商業の活性化とサービス産業の革新	所管部局名	商工労働部	長期総合計画頁	101
	政策名	多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	関係部局名	商工労働部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興	県産品の販路開拓・拡大による物産振興

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i	サービス産業の労働生産性(万円/人)	①	H23	309	317 (H27)	309 <small>(参考値:H23)</small>	97.5%	317 (H27)	345 (H32)					
ii	県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社)	①	H25、26 平均	30	36	57	158.3%	45	60					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね 達成	各商店街で行う個店の魅力アップの支援や観光関連産業を対象とした人材育成のためのセミナー開催、県産品の商談会やフェアの開催により、生産性向上を図った。なお、経済センサス活動調査はH27年実績をH28年に実施、H30年に公表予定のため、実績値は参考値としてH23実績を記載。	達成
ii	達成	販路開拓や商品の改良等、生産性の向上につながる取り組みを積極的に支援したことにより、目標値を達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> 各商店街における個店の魅力アップを支援することにより、商店街の個店同士の連携強化や売上向上が図られた。 観光関連産業を対象としたセミナーや研修を開催し、生産性向上に関する意識啓発や人材育成を図った。また、企業の自主的な取り組みに対して支援を行うことにより、生産性向上の取り組みが推進できた。
②	<ul style="list-style-type: none"> 大都市圏等から特定のテーマ毎にバイヤーを招くターゲット別マッチング商談会を開催し、取引機会の創出だけでなく、商品改良に向けた意見を得る機会を創出することにより、県内メーカーのレベルアップが図られた。 大分フェアをスーパー等と開催し、県産品の県外へのPRができた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	がんばる商店街総合支援事業	22,345	B	継続・見直し	123
	サービス産業生産性向上支援事業	44,477	B	継続・見直し	124
②	県産品販路開拓支援事業	20,349	A	継続・見直し	125

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)</p> <p>・観光産業を地方創生の中で主要産業と位置づけるのであれば、労働力を外に出さない仕組みが必要。</p>	
--	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> 商店街全体の商業集積地としての魅力の向上を図るため、各市町と連携して繁盛店を増やすための取り組みや商店街に求められている社会的課題に対応した取り組み等に対して支援を行う。 サービス産業の生産性向上を図るため、引き続き観光関連産業に焦点を当て、業務の効率化を図るとともに、付加価値を高める取り組みを推進する。 物産振興では、引き続き大都市圏バイヤーと県内メーカーとの適切なマッチングによる商談成約率の向上を図るとともに、商工団体、金融機関等と連携を強化し、セミナー、フォローアップ等を開催することで県内メーカーのレベルの底上げを図る。